

きずな通信

<令和5年第4回定例会号> 第74号

渋谷区議会議員

薬丸 義人



シブヤを笑顔にする会

《区役所》渋谷区宇田川町 1-1

Tel. 03-3463-1211

《自宅》渋谷区恵比寿 2-17-20

Tel. 090-1551-5667

✉ yakumaru@sky.plala.or.jp



- ◆11/27から12/12の会期で令和5年第4回区議会定例会を開催
- ◆11/29の本会議において薬丸義人が一般質問で登壇(1-3面)
- ◆ふるさと納税制度の廃止を含めた抜本的な見直しを求める意見書(4面)

◆本会議 一般質問 (一部抜粋)

ハチ公生誕100年を祝して、議場に『SHIBUYA♥HACHI』が鎮座しています。



掲載したのは
質問の一部です。
渋谷区議会の
ホームページ
「議会中継」から
質問の動画も
ご覧ください。



【質問動画】



●都市交流について



11月2日・3日は鹿児島市で「おはら祭」が、11日・12日は秋田県大館市で「ハチ公生誕100年フェスティバルin大館」がそれぞれ開催された。両市とも本区と交流協定を締結している自治体である。これらのイベントには区長・議長と共に区職員も現地入りし、同様に渋谷でイベントが開催される際には、市長・議長・市職員が渋谷を訪れ、交流を深めている。こうした際に職員が必要に応じて行き来できる費用の確保は大切。交流都市として今後実りあるものにしていくためにも予算の充実を。

鹿児島市や大館市との交流は、自治体組織間に限らず、住民相互のものなど多岐に及んでいる。今後の更なる交流の発展のためにも、職員が実際に訪問し、お互いの地域の特性や文化等についての理解を深めることは重要。経費については必要に応じて予算化を検討する。





協定は締結していないが、イベント等を通じてその思いが強まっている自治体もある。例えば「よさこい」で繋がっている高知市。こちらも20年以上の歴史がある。そろそろご一考いただく時期と思うがいかがか。所見を伺う。

高知市とは、今年21回目の開催となった「原宿表参道元氣祭スーパーよさこい」を通じて、関係性が深まっていると感じている。協定締結については相手の意向を確認する必要があるが、本区としてはこれまで培ってきた関係性を踏まえ、自治体間でも連携していくことについて検討していきたい。



現在、庁舎2階に鹿児島市の特産品などが展示されている。この展示スペースを拡大して希望する交流自治体の特産品を展示できるようにしてはどうか。また、現在の場所は人の通りが少なくあまり目立たない。1階の受付手前にある低層階用エレベーター前に移してはどうか。



このスペースの周囲には来庁者用ベンチが設置されているので、拡大についてはその利用状況も見ながら検討したい。庁舎1階低層エレベーター前については、他の事業等で使用することがあるため、期間限定となるが、活用していきたい。



庁舎2階の交流自治体特産品等展示コーナー

●ふるさと納税について



ふるさと納税により区外へ流出した区民税は 概算で令和元年度20億円、2年度22億円、3年度28億円、4年度32億円。令和に入ってから昨年度までで、なんと100億円以上の減である。本年度、令和5年度は一体いくらの流出を見込んでいるのか。また、こうした歳入の減に対して、その75%が国から地方交付税により補填される制度があるものの、東京23区や一部の自治体は補填対象外である。区施設の建替え計画にも影響を及ぼしかねないこの状況、区長はどのように考えているか。

令和5年度の影響額は約45億円。減収額は依然として増加し続け、主要な施策、事業の実施にも深刻な影響を及ぼしかねず危機感を募らせている。特別区長会においても、地方自治の根幹を破壊するとの考えを共有し、国に対して制度の廃止を含めた抜本的な見直しを強く求めている。



今定例会にふるさと納税の歳入増を見込んだ補正予算が上程されました。当初予算10億円に今回6億円をプラスして歳入を16億円とするものですが、区の財源としてまるまる16億円が入るわけではありません。

返礼品相当額としてその3割、そしてふるさと納税のサイト利用料や手数料などに2割、つまり合計5割にあたる8億円は経費として消えてしまいます。



●資源回収について(雑がみの分別)



封筒や包装紙、空き箱、メモ用紙、そしてネット通販等で商品を守るためのクッション材として隙間につめこまれている紙や毎日のようにポスティングされるチラシなどの、いわゆる「雑がみ」については、大半が「可燃ごみ」として出されていると思う。これらを分別回収すれば可燃ごみはかなり縮減できる。雑がみの分別化について区長の所見を伺う。

家庭から出る「雑がみ」については、資源回収日に「雑誌」と一緒に束ねて出していただく事で分別回収を行っているが、昨年度実施した組成分析調査では、可燃ごみの中に資源化可能な紙類が1割以上含まれていた。今後は分別をより分かりやすくするため、「雑がみ」を1つのジャンルとすることなどを検討する。将来的には、窓付き封筒やノーカーボン紙なども雑がみとして回収が可能となる。



雑がみが資源として可燃ごみから外れると、相対的に生ごみの割合が増えるため、今よりも焼却効率が悪くなる。改めてコンポストや生ごみ乾燥機など「家庭用生ごみ処理機」の購入助成の周知を徹底してもらいたい。今年度より補助率1/2、上限20,000円の助成が始まっているが、まだまだ知らない方が多い。

本年6月から補助金の交付を開始し、先月までの5か月間で59件の申請があった。生ごみの減量を促進するには、更なる周知が必要。様々な方法で一層の周知に努める。



●ペット防災について



本年第2回定例会でも代表質問したが、ペットに特化した防災訓練を提案する。最近の渋谷防災キャラバンではペット防災に関するブースの設置や講演会の開催を導入されていることを評価する。現在区内にワンちゃんだけでも1万頭以上が飼われている。災害時は在宅避難が大前提だが、自宅が被災した場合などに円滑なペット同行避難ができるよう、宮下公園や代々木公園などを会場に、ペットに特化した防災教室を開催していただきたい。区長の所見を伺う。

ペット防災については「渋谷防災キャラバン」の中で、同行避難も含め広く啓発活動を実施している。まずは、この取組を継続する。議員提案の宮下公園や代々木公園を会場とした防災教室については、今年度協定締結したヤマザキ学園や安達文化学園との連携による開催等を今後検討する。



◆今定例会の議案と採決の結果 (一部抜粋)

(各議案の ○ × はシブヤ笑顔の賛否、()内は議会採決の結果)

●令和5年度一般会計補正予算(第6号)

○:可決(立憲国民と無所属1名が反対、他は賛成)

歳入歳出に各々6億円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1247億6967万3千円とするもの。

歳入内容は全額がふるさと納税寄附金。

歳出内容はふるさと納税の返礼品や手数料などに3億円。地域経済活性化事業としてハチペイデジタル商品券(R6.2 からキャンペーン予定)に3億円。

●令和5年度一般会計補正予算(第7号)

○:可決(全員賛成)

歳入歳出に各々21億3240万9千円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1269億208万2千円とするもの。

歳入内容は全額が都支出金。

歳出内容は全額が物価高騰緊急支援給付金給付事業。住民税非課税世帯に1世帯7万円を給付するもの。

●ふるさと納税制度の廃止を含めた抜本的な見直しを求める意見書

「税源偏在是正」の名のもと、東京23区ではふるさと納税により貴重な財源が奪われ続けている。特別区全体の影響額は令和5年度で約830億円、平成27年度からの累計額で3,600億円を超える。本区でも、令和元年度から令和4年度までに区民税が100億円以上流出し、令和5年度には45億円の流出が見込まれており、財政運営に支障をきたしている。

地方交付税の交付団体では歳入の減少に対し、その75%が補填されるが、不交付団体である東京23区や一部の自治体に補填はなく、地域福祉や都市として必要な役割の維持に深刻な影響を与えている。

特別区では、高度経済成長期に急増した公共施設の改築や首都直下地震への備えが急務である。実際に本区でも、小中学校等区有施設の建て替えは喫緊の課題であり、財政的に余裕がある状況ではなく、これ以上のふるさと納税による区民税の過剰な流出は看過できない。

よって渋谷区議会は、国会及び政府に対し、地域福祉と地方自治の責務を果たすため、本来の目的から乖離したふるさと納税制度については、廃止を含めた抜本の見直しを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年12月12日

渋谷区議会議長名

衆参両院議長・内閣総理大臣・内閣官房長官・総務大臣・財務大臣 あて

★その他の議案等の結果は「しづや区議会だより」

「渋谷区議会ホームページ」をご覧ください。

◆第72回おはら祭を視察

11月2日から3日にかけて鹿児島県の「おはら祭」を視察してきました。渋谷区と「観光・文化交流協定」を締結している鹿児島市。その鹿児島市で毎年11月に開催される南九州最大のお祭りです。

夕方からの「夜まつり」と翌日の「本まつり」合わせて231連、約16,000人がおはら節、ハンヤ節、そして「渋谷音頭」を踊りました。私も渋谷をPR!!



薬丸義人プロフィール

1964年6月23日(東京オリンピック)

渋谷区広尾の日赤にて誕生

(かに座、B型)

渋谷同胞幼・区立臨川小

明大中野中・高(剣道部)

明治大学政治経済学部 卒

1987年 東京トヨペット(株)入社

渋谷営業所配属

翌年、人事部へ異動

1992年 中央商工(株)入社(家業・民間車検工場、現不動産賃貸業)

2005年 第10回自動車整備技能競技東京大会で金賞受賞

2007年 初当選、2011年 2期目、2015年 3期目

2017年 渋谷区監査委員(議員選出) 就任(~2019.5)

2019年 4期目当選、区民環境委員長就任(~2021.5)

2021年 副議長就任(~2023.4)

2023年 5期目当選

会派・委員会等所属

しづやを笑顔にする会

福祉保健委員会副委員長 / 官民連携事業調査特別委員会委員

清掃・リサイクル審議会委員 / 消防団運営委員会委員



◆区議会の傍聴にいらっしやいませんか



防音の親子傍聴席

議場には車いすスペースや親子傍聴席もあります。傍聴ご希望の方は庁舎13階の区議会フロアにお越しください。ご住所・お名前をご記入いただき、傍聴券をお渡しいたします。

★次回の渋谷区議会

令和6年第1回定例会は

2月20日(火)からの予定です!!



薬丸義人
ホームページ
Facebook
Instagram
TikTok

ホームページ <https://yakumaru.info>